質疑・応答

○ 西本　和史（山一支部）

①ローカル線の存続について
②契約社員の社員試験について
③ＢＣ運用について
④骨太運用の推進について
⑤新山口の到着点呼の変更について
⑥前泊申請時の服装について

（回答　吉重）
②会社に申し入れを出しています。
③先日会社から説明を受け、別途共有させて頂きます。
⑤今後も継続して会社に訴えていきます。

（回答　松原）
①本部としても会社議論していきます。
②契約社員で頑張った方を社員登用させることが重要だと認識しており、本部も会社に申し入れをしています。

○ 水本　尚志（支社支部）

①骨太運用について
②一時帰休の考え方について
③健康増進センターについて

（回答　吉重）
②様々な意見を頂戴しており、意見集約して本部に挙げています。
③健康増進センターのコロナに関する手当について本部に上申します。

（回答　松原）
①今後の賃金昇進制度の在り方も含めて、改善をしていくべきだと認識しています。

◎ 吉重副委員長（広島地本）

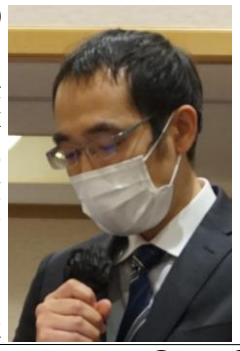
◎ 松原副委員長（中央本部）

○ 眞崎　勇士（山二支部）

①組合員の引き下げについて
②一時帰休について

（回答　松原）
①本部として慎重な検討が必要と認識しています。

○ 本田　達也（広二支部）



①中央本部大会の開催方法について
②老朽化の目立つ社宅・寮について
③駅での勉強会について
④今後の広島支社について

（回答　吉重）
②温品社宅については住民説明会で丁寧にするよう会社に伝えています。
③内容によっては集まる必要が無いと考えており、会社も方法を工夫させるとのことです。
④来年度以降も遠隔ＭＶが随時導入される予定となっており、その都度提案を受けることとなっています。

○ 長岡　由樹（病院支部）

①二〇二一春闘について

（回答　吉重）
①医療関係の組合員には心から感謝している。何とか後押ししていきたいと考えている。

（回答　松原）
①本部大会のリモート参加について、本部としては生の意見を聞き、議論することが重要であると考えているため、なるべく使用したくないと考えています。

○ 馬場　康貴（広二支部）

①夜間の列車間合拡大について
②保線区の苦情対応について
③運転適性検査について
④フレックスタイム制の拡大導入について

（回答　吉重）
①今回のダイヤ改正において改善した線区もあると思いますが、引続きの課題と認識しています。

（回答　松原）
④会社と議論を交わしていますが、引続き取り組んでいきます。

○ 岩男　道治（山二支部）

①作業責任者手当について
②年間臨給について

（回答　吉重）
①引続き会社へ訴えかけます。

（回答　松原）
①今回の春闘でも会社へ要求していきます。

○ 元上　博文（工務部会）

①作業責任者手当について
②ＥＳ改善について
③工務職場のフレックス制度導入について

（回答　吉重）
②工務職場の休養室の課題については会社も認識しています。会社も厳しい経営状況ですが、引続き優先順位をつけながら進めていかなくてはならないと思っています。

石松書記長総括（要旨）

・安全の確立について

福知山線列車脱線事故から、まもなく十六年を迎えようとしています。改めて事故を防ぐことが出来なかった反省に立ち、安全の追求に邁進していきます。

・新型コロナウイルス対応について

ＪＲ広島病院をはじめ医療現場でこのウイルスと日々戦っておられる皆様と、本当に苦しい状況に耐えて頂いている組合員と家族の皆様に感謝申し上げます。今後はこれまでのやり方を抜本的に見直す必要があるものも多くあると思います。組合員の皆さんが生き生きと働ける職場を造れるようご協力をお願いします。

・二一春闘について

今春闘はＪＲ西労組として初めてベースアップの要求を見送ったうえで、年間臨給三・五ヵ月を掲げて闘っています。会社側はかなり厳しい返答をしていると聞いていますが、組合員やその家族の皆さんの生活を守るため、最後まで戦いましょう。

・組織強化・拡大について

広島地本の組織率は九十四・六％となっています。我々の最重要課題は「運動の継承」です。各分会組織で若年化が進んでおり、どのように運動を継承していくかが課題となっています。しかし、若返っているからこそ新しいことにチャレンジしやすい時でもあります。固定概念に囚われずに皆で考え実行して下さい。

・業務課題への対応について

今後も多くの施策が実施されることが予想されると共に、業績悪化に伴い経営のスリム化も迫られています。しかし、安全や組合員の労働環境を蔑ろにした施策を推し進めることが無いよう、チェック機能を発揮して生き生きと働けるような環境づくりに向けて取り組んでいきましょう。

・政治の強化ついて

今回皆さんにご協力頂いた緊急署名により、「雇用調整助成金特例措置の延長」等支援措置が実施されました。今回ほど政治の大切さを感じたことは無かったと思います。引続きご協力をお願いすると共に、交通政策を進める会への加入促進をお願いします。